

各 位

東京都港区西新橋一丁目 6 番 21 号
 インヴァスト証券株式会社
 代表取締役社長 川路 猛
 (JASDAQ コード : 8709)
 問合せ先 : 執行役員総合企画部長 田村 信司
 (TEL 03-3595-4133)

平成 25 年 4 月度 月次概況 (速報) のお知らせ

平成25年4月度の当社の月次概況を下記のとおりお知らせいたします。

なお、営業収益等は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年 月	平成 24 年											
	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
営業収益 (単位：百万円)	166	242	291	231	279	291	233	263	257	320	284	295
預り証拠金残高 (単位：百万円)	53,582	52,972	52,353	52,917	54,006	54,078	54,767	55,633	55,921	54,929	54,918	81,571

年 月	平成 25 年											
	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
営業収益 (単位：百万円)	430	485	380	522								
預り証拠金残高 (単位：百万円)	79,741	79,231	77,693	76,582								

(注) 預り証拠金残高は各月末時点における全事業の合計額であります。

《 4 月度の概況 》

4 月の外国為替市場は、序盤は前月に引き続きキプロスを巡る不透明感が市場を席卷したことからリスク回避の円買いが優勢となり、ドル円相場は約 1 か月ぶりの安値となる 92 円台まで下落しました。

しかし、その後、キプロスへの支援策が合意に達し、黒田日銀総裁による量的・質的金融緩和策が報じられると、円は主要通貨に対して加速度的に下落に転じ、ドル円は約 4 年ぶりに 99 円台まで上昇しました。

また、終盤にかけては中国の GDP が事前予想を下回ったことから資源国通貨が下落するなど、円を取り巻く環境は強弱入り乱れ、やや方向感に欠ける展開となり、ドル円は 95 円台～99 円台のレンジ相場となりました。

このような環境のなか、当社の FX 事業は、引続き利益確定に伴う出金増により預り証拠金残高は微減となったものの、対円通貨の水準が大幅に切り上がり、ボラティリティーも高止まりとなっていることから出来高については「くりっく 365」、「FX24」、「シストレ 24」の三事業ともに前月に比べ大幅に増加し、営業収益を大きく押し上げました。

以上